

重要課題は
早急に解決していく
必要がある



▲動画配信が
見られます

みちぶしん

ふるさと道普請事業について

質問 申請できなかつた人への対応は



たけはらつくお
竹原亜生

町 ▶ 来年度予算で優先的に対応

問 ※1
ふるさと道普請事業予算が9月で上限に達し、町民は申請が出来ない。町を良くしたいと思っている町民の活動意欲が削られるが対応は。

答 〔建設課長〕
予算300万円に対し過去3年の決算は、平均約180万円であったが、今年度は、豪雨で9月に予算上限に達してしまった。申請できなかった団体には、来年度優先的に対応する。

問 補正予算や予備費を活用し継続すべきだが出来なかつた理由は。

答 〔建設課長〕
財源に限りがあるため、当初予算の範囲内でお願いしたい。

問 地域住民が地域を良くしようとする活動を支援するのが町ではないか。重要な事業には、柔軟な対応が必要では。

答 〔町長〕
事業の状況については理解をしており、危険性がある場合は対処する。来年度は申請できなかつた方を優先し、予算以上に要求があった場合にも、しっかりと検討する。



※1…地域住民が労力を提供して自分たちの通行している道路を整備し、道路整備に必要な砂利等の原材料を町が支給する事業。

黒磯那須北線について

質問 地域住民との話し合いは

町 ▶ アンケート調査や意見交換を行う

問 令和7年に完成する黒磯と当町を結ぶ黒磯那須北線は、人や物の交流が増えるだけでなく商店や企業の進出、さらに住宅需要が高まるなど、移住促進にも大きく期待できる。黒磯那須北線の完成を想定に入れた土地利用計画の進捗状況は。

答 〔町長〕
新高久周辺地区の土地利用について、住宅用地利用を中心に、商業施設の誘致を図る方針である。しかし、有効利用できる町有地の宅地がないため、区域内をエリア分けし、具体的な土地活用についての課題を抽出している。

問 利用できる適切な町有地がないとのことだが、地域住民と土地利用計画について話し合いを行い、土地利用を具体的に進める考えは。

答 〔企画財政課長〕
民有地の土地利用に関し、住民の方から意見を聞くことが重要であり、アンケートや住民の方から意見をいただく機会を設けた。



那珂川をまたぐ新しい橋のイメージ

◇ほかに「火災対策」、「ケアラ―支援条例」などについても質問をしています。